

令和5年度岡山県スポーツ推進委員協議会 第2回常任理事会 議事要旨

日 時 令和6年2月29日(木)

13:00～15:00

場 所 ピュアリティまきび 2階「ルビー」

出席者 11名出席

1 開 会

2 あいさつ

赤木岡山県スポーツ推進委員協議会会長が挨拶

3 議 題

5号議案 ※第5号議案より協議させていただく

令和6年度岡山県生涯スポーツ研究大会兼岡山県スポーツ推進委員研修会について

事務局説明（備北支部・資料10ページから）

- ・期日、内容等開催要項通り。
- ・講演の槇原さんについては快諾をいただいている。
- ・1日目アトラクションについて「にーみん体操」は変更の予定。新見公立大学に「ダンスパフォーマンス2024」を追記する。
- ・宿泊について、別紙宿泊施設を参考に、市町村が直接申し込むことになる。
（役員から）
- ・1日目の午前中に初任者研修会を開催予定である。
- ・申込方法や弁当注文について検討してもらいたい。
- 県研修会申込様式に、初任研参加及び弁当注文の欄を追加しているため、申し込みの際に記入してもらい、対応する。
- ・宿泊について、夕食はいらないので、夕食なしの値段に修正してもらいたい。
- 宿泊リストについては、修正する。
- ・実技研修は屋内、屋外どちらか。上履きはいるか。
- 実技研修は屋根付きの屋外である。スタッキングの会場については、検討中のため、屋内になった場合は、上履きが必要となる。決まり次第。要項へ記載する。
- 一同、同意

1号議案

令和5年度事業報告（案）について

事務局説明（資料3～4ページ）

資料通り

→ 一同、同意

2号議案

令和5年度補正予算（案）について

事務局説明（資料5～6ページ）

【一般会計】

○収入

- ・雑収入の約26万円増額は、還付金が若干増額したことと、県研修会の参加費及び情報交換会費を計上しているため。

○支出

- ・事業費は、ほぼ例年通り。
- ・旅費及び会議費については、通常の参集での開催や理事会以外の会議数の増加により、支出が増額している。
- ・今後、第2回常任理事会及び理事会とリーダー養成講習会の派遣費の約15万円支出する。
- ・負担金は、特になし。
- ・予備費は、年度末に決定し、5月に報告する。
- ・繰越額は、今後、約15万円の支出見込みから、25～30万円程度となる見込み。
- ・全体的な支出額増額の要因については、会議数の増加に伴う旅費・会議費の増額や物価高の影響がある。

【特別会計】

○収入

- ・例年通り

○支出

- ・例年通り、県研修会負担金を支出

→ 一同、同意

3号議案

令和6年度事業計画（案）について

事務局説明（資料7ページ）

- ・常任理事会は、3回開催予定。
- ・常任理事会、理事会及び組織活性化部会については、会議室確保の関係で、すでに日程は決定している。
- ・中国地区関係は記載のとおりだが、来年度は理事会が通常の参集開催、女性委員会は書面開催となった。理事会には、会長、副会長、理事長が出席する。現在の女性委員長については、検討する。
- ・初任者研修会を県研修会の午前中に開催する。

（役員から）

- ・中国地区理事会への出席メンバーは、現メンバーなのか、新メンバーなのか。

→ 現メンバーに出席してもらいことになるが、役員交代が決定しているのであれば、早目に事務局へ連絡してもらいたい。その際は、新メンバーへ派遣依頼を出す。

→ 一同、同意

4号議案

令和6年度収支予算（案）について

事務局説明（会議資料8～9ページ）

【一般会計】

○収入

- ・令和5年度並み。
- ・令和6年度スポーツ推進委員数は、890人の予定。
- ・雑収入の約25万円増額は、県研修会費の参加費及び情報交換会費を計上しているため。
- ・繰越額は、会議費及び旅費の増額、物価高の影響で減額し、今後、25～30万円程度になる見込み。

○支出

- ・事業費については、令和5年度並みだが、会報印刷費の高騰や初任者研修会開催の準備・運営費を計上のため、6.5万円程度増額。
- ・管理費の旅費については、中国地区理事会が通常開催のため、10万円増額。
- ・そのほかの旅費は、令和5年度を参考に計上。
- ・女性委員会及び専門委員会分の旅費は、組織改編のため減額。
- ・全体的に、1.9万円の増額。
- ・会議費については、令和5年度を参考に計上。
- ・県研修会の参加費や情報交換会費を計上のため、25万円増額している。
- ・女性委員会及び専門委員会分の旅費は、組織改編のため減額。
- ・全体的に14.5万円増額しているが、県研修会の増加分のため、実際は減額している。
- ・負担金は例年とおり。
- ・予備費については、今後、赤字になる可能性がある。

○今後の財政について

- ・収入が年々減少する中（H28から約100万円減）、支出が増加（旅費・会議費・物価高）している。このままでは、一般財源は破綻する。
- ・対策として
 - ①会議のコーヒー等をペットボトルにする
 - ②会議資料等の郵送をやめ、メールでの連絡にするとともに、県のHPには、スポーツ推進委員協議会の項目があるため、そこに会議資料や議事録等を掲載し、各自ダウンロードしてもらう。（通信運搬費の削減）
 - ③来年度1年間を通して、可能な限りの経費を削減していく。
 - ・会議での封筒配布の取りやめ
 - ・支部への負担金の検討 など

（役員から）

①について

- ・来年度からペットボトルもなくしてよい。飲み物は、各自持参でよい。

②について

- ・県事務局の対応でよい

③について

- ・封筒配布は廃止でよい。
- ・支部への負担金の中の人数×500円は必要ないのではないか。財源に負担があるのであれば、今後、減額や廃止でもよいのではないか。

⇒ ①②と③の封筒配布については、来年度から実行させていただく。なお、県HPについては、すでに掲載している。
支部への負担金については、来年度の収支を見ながら、1年間かけて検討する。

【特別会計】

○収入

- ・例年通り。

○支出

- ・例年通り、県研修会負担金を支出。
- ・能登半島地震への義援金で10万円計上。（この後の議案で協議する。）
- ・県協議会の看板作成のため、5万円計上。これについては、令和7年度中国地区研修会開催に向け、県が所有する国旗、県旗の看板に合わせ、県協議会の看板を作成するものである。
- ・来年度は、合計25万円の支出を予定している。

→ 一同、同意

6号議案

岡山県スポーツ推進委員協議会新組織について

事務局説明（会議資料15ページ）

- ・経緯について、令和4年度から専門委員会及び女性委員会において、在り方等について検討してきた。
- ・女性の活躍の場を確保した上で、女性委員会の発展的な解散が必要と感じた。
- ・両委員会において、新組織改編に向け協議した。
- ・新組織の名称は「組織活性化部会」とした。

（役員から）

- ・「委員会」ではなく、「部会」にした理由はあるのか。

→ 県協議会自体が委員会であり、主体となる組織であるため、その下部組織として活動するには、「部会」が適当と考えた。

→ 一同、同意

7号議案

岡山県スポーツ推進委員協議会規約（案）について

事務局説明（会議資料16～22ページ）

- ・新組織改編に伴い、県協議会規約・施行細則、新組織規約・施行細則について、改定等する必要がある。

- ・まずは、15ページは「組織活性化部会」の規約になる。これは、専門委員会の規約を参考にしている。
 - ・大きく変更した個所は、委員会を部会にし、第2条の「目的」の活発化を活性化に変更した。
 - ・第7条の2項に、「ただし、（中略）議決することができる。」と追記した。
 - ・承認後、令和6年4月1日から施行する。
 - ・17ページの「組織活性化部会」規約施行細則について、全て「委員」を「部員」へ修正していただきたい。
 - ・「構成部員」は、各支部から4名を推薦することとし、4名のうち2名以上は女性とする。
 - ・会長は4名推薦することができる。
 - ・部長は1名、副部長は2名で構成し、その内2名は女性とした。
 - ・承認後、令和6年4月1日から施行する。
 - ・18ページからは、組織活性化部会の改編に伴い、県協議会規約及び施行細則についても改訂する必要が生じた。
 - ・規約の第4条「事業」（3）にスポーツ推進委員の役割を鑑み、今まで記載がなかった「調整」を追記した。
 - ・20ページの「委員会」を「部会」に修正していただきたい。
 - ・第14条に「組織活性化部会」を置く。
 - ・第15条の「本会は」を「本会に」に修正するとともに、「（以下「支部」という。）」を削除する。
 - ・第16条の「（以下「評議員」という。）」を削除する。
 - ・承認後、令和6年2月29日から改訂する。
 - ・22ページからは、本協議会規約施行細則になり、第2条を表記のとおり修正する。
 - ・第2条の4項は、理事の選任についてになる。（2）女性委員長及び（3）専門委員長を削除し、組織活性化部長及び副部長とする。
 - ・第5項は、副会長についてになる。現行の女性委員長を削除し、組織活性化部長又は、副部長の女性部員とする。
 - ・第6項は常任理事についてになる。現行の専門委員長を削除し、組織活性化部長及び副部長とする。
 - ・承認後、令和6年2月29日から改訂する。
- （役員から）
- ・16ページの第3条について、組織活性化部会は、通常、常任理事会・理事会前に開催されることになるため、「理事会の議決を経て」を削除し、各支部の推薦と会長の委嘱をもって構成したほうが良いのではないかと。
- 「理事会の議決を経て」を削除する。
- ・組織活性化部会は総勢何名になるのか。
- 各支部の4名の推薦と会長推薦4名をあわせて、総勢20名になる。
- ・17ページの構成部員について、第2条に、「（前略）…県及び市町村協議会」のあとに、市町村によっては、「委員会」というところもあるので、「委員会」を追記してもらいたい。

- 「委員会」を追記し、「市町村協議会・委員会」の表記に修正する。
- ・第2条4項の「その内2名は女性とする。」を「2名以上」と言うように「以上」を追記してはどうか。
- 「以上」を追記し、「その内2名以上は女性とする。」の表記に修正する。
- ・22ページの第2条の4項と6項について、組織活性化部長及び副部長の「及び」を5項と同様に「又は」にしたほうが良いのではないか。
- どちらとも「又は」に変更し、「組織活性化部長又は、副部長」の表記に変更する。
- 一同、同意

8号議案

能登半島地震義援金について

事務局説明（会議資料23～24ページ）

- ・全国連合から24ページのように被災地への義援金の依頼があった。
- ・県としては、H23の東日本大震災、H28の熊本地震の際にも義援金の支援を行っているため、今回も義援金を考えている。
- ・案としては、記載のとおりであり、県としては、案1及び案2のどちらかで考えている。
- ・案4のように、中国地区の各県で差が出ないように、中国地区会長同士が相談をしており、10万円が妥当と考える。
- ・支出先は、県協議会特別会計からと考えている。
- ・振込等については、県事務局から全国連合へ振り込み、来年度の定時総会において、全国連合から石川県会長へ手交することになっている。

（役員から）

- ・中国地区ではほぼ統一した金額で支援したいという相談があった。
 - ・このようなことはないことが良いが、今後、義援金の必要が生じた場合は、市町村から集金して、県が一括に振り込むことが良いのではないか。
- 今回は中国地区で統一ということで10万円の振込みとしたい。今後は、様々な方法を検討する。

→ 一同、同意

4 その他

（事務局説明）（1）～（3）を報告及び説明。

○岡山県スポーツ推進委員協議会会報（57号）について

- ・表彰者や各支部からの原稿をいただいた。このあとの理事会において、事業報告等や事業計画等の承認をいただいたら、原稿を業者へ提出する。また、本会終了後、集合写真と撮る。

○岡山県スポーツ推進委員協議会初任者研修会について（資料25～26ページ）

- ・先にも話題にしてきたが、来年度初任者研修会を開催する。

- ・開催日時は県研修会の午前中とする。
- ・日程等は記載のとおり。
- ・意見交換会の担当を「組織活性化部会」に修正していただく。
- ・申込については、県研修会の様式に初任研と弁当注文の欄を作って、市町村へ送付する。

○各種大会予定について（２７ページ）

- ・来年度については、記載のとおり。
- ・中国地区研修会における発表担当支部を令和１０年度は美作支部に、令和１２年度は備前支部に変更している。
- ・国民体育大会を国民スポーツ大会へ名称を修正していただきたい。

○中国地区スポーツ推進委員研修会実践発表県について（２８ページ）

- ・先の各種大会予定から、美作支部と備前支部を記載のとおり変更している。

○役員改選について（２９ページ）

- ・令和６・７年度の役員について、来年度が改選期である。
- ・各支部からの役員選任名簿の様式になる。
- ・できるだけ早く支部の役員を県事務局に連絡してもらいたい。
- ・役員については、会議に出席していただける委員の選任を優先的に考えてもらいたい。

○その他について

- ・前回の常任理事会において、受賞者の選出について協議したが、文部科学大臣表彰について、今年度、備前支部の風早さんに辞退してもらった。来年度選出することはできないか。

→ 前回の会議で、この件に関しても協議した。その結果、支部の順番も決め、来年度は美作支部にもなっている。今回変えるわけにはいかないと考える。

- ・生涯功労者表彰も１減になった。両方クリアにしてから新基準で選考してはどうか。

→ 各支部は、前回の結果ですでに推薦者を考えている。会議ごとに基準を変えることは賛成できない。前回決まった基準で選考すべきである。

→ 一同、同意

５ 閉 会

事務局

これをもって常任理事会を終了する。